

M-class



MクラスではGLほどのアクレシブさよりも、よりライトなシティーフローター的な印象が強い。前後スポイラーだけでなくサイドスカートの設定があるのも特長である。セダン系に近い流れのパーツ構成となる

G-class



Gクラスに関してはアイテム的に目新しいモノは用意されなかったが、レッドカーボンを基調としたインテリアキットが目を引く。またモノアートの22インチサイズはもちろん用意され、足もとが一層たくましくなった

A.R.T伝家の宝刀、SUV全モデル完遂

A.R.T GL/G/M-class

ラーコーポレーション ☎048-649-1920

www.lager.co.jp

SPORTS PRICE

- GL250 フロントスポイラー… ¥336,000 ●X164用リアスカート… ¥210,000
- GL250 フロントスポイラー (キセノン/ハロゲン)… ¥504,000
- GL250 フロントスポイラー… ¥257,250 ●W164用サイドスカート… ¥231,000
- GL250 ラインアップリ

Gクラスフェイスキットで爆発的人気を博したA.R.T。その時からラーコーポレーションが国内の正規代理店を務めることになったのはご存知の通り。その後も、昨年には空前のGTR発表劇やGL221のスポーツライン/アバンギャルドバンパーのデビューなど、セダンの強化を推し進めてきた。しかし、今年の目玉はGLのスタングアイテム。同時にMクラスやGクラスにはこれまでのノウハウを結集し、第2世代とも呼べるSUVシリーズを完成させたことにある。久々の原点回帰だ。何と言っても圧巻なのはGLクラスのフェイスキットだろう。Gクラスで披露した時のインパクトは計り難き。こちらは片側3連フックとなるのでフェイスのインパ

クトは強烈だ。バンパースポイラーとのコンビネーションによって、よりスタイリッシュなアバンギャルドイメージのSUVを打ち出す。これはMクラスに関しても同様で、重厚さが加わっている。そこへもうひとつのトピックスとなるモノアートの22インチサイズをリリースし、3台のA.R.Tモデルにも早速履かされていた。これまで長きに渡り20インチ止まりだったところ、22インチとなったことで異彩を放っている。ファン待望の大口径ラインアップだけに、20インチから履き替えるファンが増えそうな予感がする。いずれにしても、SUVには強いブランドだけに、3台ともに壮観初登場のGLが、ムーブメントを生み出してくれるはずだ。



前後のバンパーに、トリプルビームと呼ばれる片側3連の6灯フォックが配されたことで、同社らしいアクレシブなフロントビューを実現。中央のライトには2連発のLEDビームとなっている。ホイールはモノアートの最新22インチを履く



GL-class